

町の人口（8月末）

- ・総人口 15,961人
 - 男 7,654人
 - 女 8,307人
- ・世帯数 3,960世帯
- ・転入37人・転出41人
- ・出生20人・死亡9人

町の花・ツツジ



（川内郷・農機具倉庫）

無惨!!

60年ぶりという猛威をふるった台風12号。過ぎ去ったあとの町は、あちこちで無惨な姿と化し、自然災害の怖さをまざまざと見せつけられた。

暴れくるう強風——この農機具倉庫も、トラクターをはじめ近代的農業機械をのみ込んだまま、あえなく崩れ落ちてしまった。

被害総額一億九千万円

八月三十日の深夜から三十一日の未明にかけて、本県を襲った台風十二号。各地で大きな打撃を受けました。

本町においても、その爪あととはひどく、屋根瓦や看板が吹き飛び、収穫前の農作物も壊滅的な損害を受けるなど、その被害総額は約二億九千万円（九月一日現在）。

台風による本町の被害は、五十三年九月（台風十八号の被害額一億三千万円）以来九年ぶり。今回は、それをはるかに上回るもので、町では、現在関係機関と一体となって、復旧対策に全力を上げていくところです。

被災二〇五〇戸

農産物も大打撃

本町の被害区域を見てみると、町内三、九六〇戸のうち、二、〇五〇戸と五割以上が被災（九月一日現在）。特に南地区全域から中央部（宿・折敷瀬・井石）にかけて集中しています。あちこちで、住家や工場の屋根が吹き飛び、大木が次々となぎ倒されるなど、「カゼ台風」の猛威ぶりをまざまざと見せつけられました。収穫を前にした水稲、大豆、梨、みかん、メロンなどの農作物も大きな被害を受けています。特に、梨、メロンは壊滅的狀態で、収穫を楽しみにしていた農家は、ガックリと肩を落していました。

一方、町内の各公共施設も被害は甚大。小中学校や体育センター、町営住宅など数十カ所の屋根、壁がなぎ取られ、その被害額も約一五〇〇万円にのぼっています。町では、これまで被災状況を一早くキャッチすべく、町内をくまなく巡視。さらに、町議会、郷総代会など関係機関と今後の対応策について、協議を重ねてきたところです。また、役場に「被災者相談窓口」を設置し、被災された方々の各種相談業務にあたっています。

かつてない大災害となりましたが、幸いにして人的被害がなかったのか、何よりの救いです。

災害は、忘れた頃にやってくる——この大災害を教訓として、今後とも、家庭、地域の防災対策について、認識を新たにするともに、万全の防災体制づくりに努めなければなりません。

深夜襲撃

12号

▲本堂前になぎ倒された大木（東前寺）



災害 レポート

台風



▲はぎ取られた上線6箇要
▲三つ木地区田川町三ツ木
▲森宮社



▲はぎ取られた上線6箇要



▲壊滅した「ぶどう園」



▲渡佐美神社の名木（マケの木）も
樹齢300年でダウン

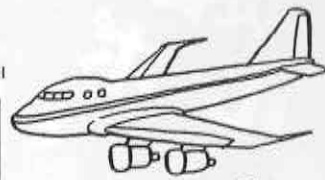


災害は
忘れられた頃に
やってくる

台風12号による被害概況（9月1日現在）

区分	内容	被害概算額
住家	一部破損 屋根瓦等 2,050戸	77,000 <small>千円</small>
農産物	水稻, 大豆, 梨 メロン, みかん等	117,879
陶磁器関係	工場等破損, 生産停止, 看板等	65,850
公共施設等	町営住宅, 体育セ ンター, 中学校他	14,576
文教施設(民)	私立幼稚園, 保育園等	2,300
農林業施設	ハウス, 堆肥舎	1,000
その他		10,000
計		288,605





レポート

ブラジル

(長崎県人会二十五周年
記念式典及びマウア市)

親善訪問

町長 兒玉 薫

被災者のみなさん お見舞申しあげます

ブラジル訪問をおえ、三十日深夜十二号台風の最中帰国いたしました。今回の台風は六十年ぶり瞬間風速四十五以上と殆どの方が予想も出来なかった暴風で、早速翌日、波佐見全域の被害状況を調査しましたところ、特に、南地区、宿、折敷瀬の方面が被害甚大であり、町内全域の被害額は総額二億九千万円以上になるものと思われまふ。しかし幸にしてケガ人等、二次災害もなく不幸中の幸でした。災害は忘れたころにやってくるという格言があります。が実に貴重な体験で、この事実を忘れることなく肝に銘じ、一人暮らしのお年寄りなど、特に事前に避難させるともに今後建築その他に生かしていかなければならぬと考えます。突然の被害者の皆様から心からお見舞申し上げます。

さてブラジル訪問についてご報告申し上げます。ご承知の通りブラジル連邦共和国は地理的にも我が国から最も遠い国であります。しかしブラジルは明治の末から他の国に比べて日本からの移住者が最も多く古くから友好的で極めて身近な国でもあります。昭和二十七年移住が再開されて県内から三千名の方が移住され、本町からも野々川の野沢彰さん、岳辺田の山口正征さんら数名の方が渡航されていきます。風俗、習慣、言語等全く異なる異郷でその苦勞は筆舌に尽くしがたいものがあったと思います。昨年十一月ブラジル長崎県人会の高木会長、尾上・津高副会長が波佐見町にはるばるおいでになり長崎県人会二十五周年記念式典を挙行するのは是非出席してくれとの要請があり、又その折サンパウロの隣町マウア市(業業の町)との姉妹都市締結の話等あり、県の方からも二十五周年記念には出席し

てくれとの依頼がありましたので、町の方から私と議長が訪伯の予定をしておりましたところが町も議会も姉妹都市等考えてもおりませんでした。が突然七月十四日、サンパウロ州マウア市庁より正式に姉妹都市提携を前提としてマウア市長、議長、長官、県人会、マウア在住日系コロニヤ役員にて歓迎準備委員会を結成し、ここに改めて波佐見町長殿ご一行をご招待申し上げるとの正式通知に接し、末岡議長、民間より親族の方が在伯しておられる、野々川郷の野沢義典さん、金屋の友広常男さん兄妹と波佐見町から五名、本県から総勢七十六名の参加で

広大な国土と 多民族国家

まず最初にブラジルについて私の直感した要点のみ申し上げますと、日本とブラジルは丁度地球の正反対の位置にあり時差は十二時間、夜昼真反対です。時候も日本の夏はブラジルの冬です。日本と違って夏冬の温度差が少なく冬でもリオの海岸では海水浴客でにぎわっており夏でもサンパウロ・リオ等は三十度位で涼しく湿度が低くじめじめせず常春の気候との事です。国土も広大で日本の二十四倍の緑地、現在の日本は物価も超安定しておりますが、ブラジルは毎月二十%位のインフレで過去十年間に二回の幣価切り下げ即ちデミネを実施、昨年十月頃にも一万円が十円となり過去十年の間に一千万円が十円と、丁度日本の終戦当時のインフレが現在進行中です。

日系人千人集まる 記念式典

不思議なのは日本の終戦時のインフレは支那事変に続く大東亜戦争で全資産、全物資、全精力を使い果たした結果、物資欠乏・不足による需要・供給のバランスの破綻によるものでありましたが、現在ブラジルは食料等主食の肉類、穀物、野菜、果物等有余の程余裕があり、このようななかでのインフレは物価が上がるというより貨幣価値が下がるといった状態です。巨額な対外債務を抱えているのも事実であり、国際的にも不安な現状であります。

しかしながら、サンバが象徴するように、陽気でエネルギッシュな国民性と豊富な資源を有しており、今後、政府と国民が一体となったの国づくり——経済大国・ブラジルへと発展する、大きな夢を秘めた国であります。

日本は世界一の単民族国家、ブラジルは世界一の多民族集合国家で、あらゆる人種のもつばであり世界の文化が凝結した国で三百年後の世界を象徴しており国際化が進み民族と民族が融合同化し、世界人類皆兄弟の実を身をもって実践、その先駆をブラジルで見る思いでした。

文化会館で、約千名以上の長崎県関係日系の人が集まり、式典が盛大に挙行され、昼食はみんなで長崎から持参した長崎ちゃんぽん祭りで賑わい、波佐見出身者の人はもとより東彼杵町の丹生さん等みなさんも夫婦子供さん一家総出で



マウア市での歓迎レセプションであいさつする
兒玉町長（右がマウア市レオネル・ダモ市長、
左端が末岡議長

久し振り波佐見のかおりがす
ると、贈呈した波佐見百選の
写真、波佐見焼の湯呑、コー
ヒー碗等手に取りながら目を
潤せておられ、私もはるばる
来た甲斐があったと目頭が熱
くなりました。翌二十五日は
サントス市、長崎市との姉妹
都市提携十五周年記念式典に
は波佐見の我々は休ませて頂
き、野沢彰さんなどと休養親
睦を図り、時差ボケを直し、
翌日のマウア市庁公式訪問準
備を致しました。

到着、市職員、議会、日系市
民代表約五〇〇名の出迎を受
け、日本・ブラジル国旗掲揚
国家斉唱と厳肅な歓迎式典が
始まりマウア市長より「地球
の裏側ブラジルにご来訪頂き
感謝致します、マウア市は貴
町と姉妹都市を提携すること
を法律第二〇九八号で議決し
ました。波佐見町とマウア市
との友情が深められる事はマ
ウア市民にとって大変有意義
な事であり、日本国民は我々
の発展の為必要である

と確信致します、又陶
磁器についてお互いの
関係が深くこの芸術に
関して色々知識を交し
ていきたいと存じます。

熱烈 陶磁器の町 MAURICE

の絆を強くし、国際化の意識
を高め又、在伯日系人の地位
向上の為にも必要であり延い
ては日本とブラジルの伝統的
親睦を維持発展させるものと
確信する。波佐見町は周囲を
山に囲まれた陶磁器と農業が
一体となって発展しておる人
口一六、〇〇〇人の人情豊か
な町と紹介。今日はレオネル・
ダモ市長のご厚意により訪問
する機会を得ることが出来ま
したが今度は是非、我が波佐

見町へマウア市長初めご臨席
の皆様がおこし頂きますよう
波佐見町民あげてここに正式
にご招待申し上げます。」と答
札の言葉を述べ引続き日系マ
ウア会長である関谷由忠氏が
我がブラジルも色々な問題を
かかえておりますが先進国日
本の技術・知識を日本の二十
四倍の豊富な緑地に恵まれた
ブラジルに取り入れた時に二
十一世紀を展望する時、節度
ある政治と国民の基礎教育が
達成される等諸条件が満たさ
れたならば前途は洋々たる雄
大な大国になると信ずる。そ
れ故に次代を担う日本の青少

年が世界に対する認識を深め
る為百聞は一見に如かず国際
交流の地盤を造って頂き、親
密なる姉妹都市提携が実現す
るようご努力を御願いますと
の挨拶があり、最後波佐見町
旗とブラジリス市旗記念品を交
換し、波佐見焼の花瓶を贈呈
して式典を終る。其の後市
議会表敬訪問、小・中学校、
福祉施設、学校視察、日の丸
の小旗を振り一、〇〇〇名以
上の人が喜んで歓迎をしてく
れました。

二十六日、日系人経
営小島製陶所、ドイツ
系のシュミット陶器工
場を見学しましたが設
備・技術は日本より相
当遅れておるようですが政府
の国内産業保護政策（輸入禁
止等）にて企業は安定してお
るような気がしました。次に
日本語学校を訪問。どうして
も二世、三世となりますと日
本語を話せないようになりつ
つあると一世の親達も心配し
自分達の力で腰弁当を下げ、
汗とあぶらの勤勞奉仕で二カ
所に公認の日本語学校を開設
して日本の歴史・情緒伝承の
為努力されておる姿を拝見し
感動を覚えました。父兄の皆
さんに日本のありのままの情
勢を話し意見を交換。私も子

供さんに「君達のお父さん、
お母さん達は三十数年前日本
より移民船にてインド洋を経
て五十日以上かかり、はるば
るこの地に渡航された、現在
私達はジャンボ機にて日本の
西の果て長崎より成田、ロサ
ンゼルス経由で三十時間で飛
んで来ました。しかし、君達
が成人し大人になった頃は成
層圏飛行となり直行便で三時
間内外で交流が出来るように
なるのでよく日本語を勉強し
て下さい。」と激励しますと子
供さん達も祖国日本への夢と
希望で目の輝きを強く感じま
した。

その他まだ興味があることが
沢山ありますので今後のご協
力を御願いをし今、誕生した
友情を益々深めることに努力
します。どうか皆様方も市の
状況御視察の上、お互いの文
化交流、日系コロニヤの熱望
を御汲み取り頂きご懇情ある
ご高配をお願いする」との歓
迎挨拶、引続き私が波佐見町
長として「盛大な歓迎に感謝
します。かねてより申し出の
あった姉妹都市提携を前提と
して正式招待に預りマウア市
を訪問致しました。同じ陶磁
器産業に関係ある波佐見町が
経済文化交流を図り友好親善

の絆を強くし、国際化の意識
を高め又、在伯日系人の地位
向上の為にも必要であり延い
ては日本とブラジルの伝統的
親睦を維持発展させるものと
確信する。波佐見町は周囲を
山に囲まれた陶磁器と農業が
一体となって発展しておる人
口一六、〇〇〇人の人情豊か
な町と紹介。今日はレオネル・
ダモ市長のご厚意により訪問
する機会を得ることが出来ま
したが今度は是非、我が波佐

見町へマウア市長初めご臨席
の皆様がおこし頂きますよう
波佐見町民あげてここに正式
にご招待申し上げます。」と答
札の言葉を述べ引続き日系マ
ウア会長である関谷由忠氏が
我がブラジルも色々な問題を
かかえておりますが先進国日
本の技術・知識を日本の二十
四倍の豊富な緑地に恵まれた
ブラジルに取り入れた時に二
十一世紀を展望する時、節度
ある政治と国民の基礎教育が
達成される等諸条件が満たさ
れたならば前途は洋々たる雄
大な大国になると信ずる。そ
れ故に次代を担う日本の青少

年が世界に対する認識を深め
る為百聞は一見に如かず国際
交流の地盤を造って頂き、親
密なる姉妹都市提携が実現す
るようご努力を御願いますと
の挨拶があり、最後波佐見町
旗とブラジリス市旗記念品を交
換し、波佐見焼の花瓶を贈呈
して式典を終る。其の後市
議会表敬訪問、小・中学校、
福祉施設、学校視察、日の丸
の小旗を振り一、〇〇〇名以
上の人が喜んで歓迎をしてく
れました。

成約高七億円 と過去最高

第二十九回
県陶磁器元
卸見本市

新企画登場



テープカットする商社、県、町の代表

「肥前陶磁器フェア'87・イン長崎」と銘打った第二十九回県陶磁器元卸見本市（県陶磁器元卸見本市協会など主催）が、八月二十六日から二十八日までの三日間、波佐見勤労者体育センターで開かれまし

た。同見本市は、産地元卸商社が本年度の新作商品を中心に展示し、全国各地の卸商社や専門店を招き、取り引きするもので、今回は、波佐見二十八、三川内五の計三十三社が

参加しました。

二十六日の午前八時からオープニングセレモニーが行われ、まず、会場前の道路で大村自衛隊音楽部の吹奏パレード、引き続き、関係者約三百人が集っての式典では、浜田久県北振興局長、石丸水雄見本市協会長、中尾豊町助役らと消費地商社代表がテープカットや鏡開きをして景気づけ

をしました。昨年まで二日間だったのを今回から一日延長。各社展示

コーナーのほか、新企画として窯元二十数社による新作コーナー「やきものうぶ声展」や木箱、紙箱などの窯業関連資材展も登場し、訪れた各商社マンの注目を集めていた。

三日間で訪れた商社は約二百。成約高も約七億二百万円と昨年の四億五千七百万円を大幅に上回り過去最高の結果。主催者側は「低落傾向だった成約高に歯止めがかかった。この波に乗って不況ムードを産地一帯で打ち払い、今後とも産地PRに努めていきたい」と声を弾ませていました。



商談活発



▲300人が集まって開かれた開会セレモニー



新作コーナー
「やきものうぶ声展」

最優秀賞に

鬼木老人クラブ

——六十二年度町花壇コンクール——



最優秀賞に輝いた鬼木老人クラブの花壇
(鬼木グラウンド)

六十二年度の花いっぱい運動町花壇コンクールの審査会が八月二十七日に開かれ、鬼木老人クラブ(岩崎政由会長・会員四十二人)の花壇(鬼木グラウンド)が、見事最優秀賞に選ばれました。同クラブの最優秀は、二年振り三回目の受賞。

五十一年度から始まった同コンクール。今回で十二回目を迎えます。

今年応募したのは、町内の各老人クラブや緑の少年団、青年団の二十五花壇。

県大村農業改良普及所・郷

総代・婦人会・青年団・園芸業者などの代表七人が審査にあたり、配置・配色のアイデア性、生育・管理の状況や周辺の環境など、一カ所一カ所入念にチェックして回りました。

六月中旬に、県と町から配布したサルビア、マリーゴールドなど、約一万一千本の花苗が、丹精こめて育てられ、どの花壇も赤・黄・紫と色鮮やかに開花。また、ユニークな表示板を設置するなど、アイデアに富んだ花壇が数多く見られました。

「今年も雨天続きで、花つきが全体的に遅れているようだ。連作のため土じょうが老化している花壇が見られた。何といても土づくりが大切、土壌改良に充分力を入れてほしい。しかし、全体的には、生育・管理も良く、各花壇とも努力のあとが見られた」と審査評。

コンクールの主な結果は別表のとおりです。



わが町は
老いも若きも
花いっぱい

- 最優秀賞**
鬼木老人クラブ (鬼木グラウンド)
- 優秀賞**
波佐見町緑の少年団
(農村環境改善センター)
- 入選**
長野老人クラブ (甲長野公民館)
折敷瀬西老人クラブ (折敷瀬公民館)
湯無田上・中老人クラブ (産業会館)
田頭老人クラブ
(田頭公民館・上田頭花壇)
- 長野老人クラブ (協和公民館)
長野老人クラブ (乙長野公民館)
宿老人クラブ (宿ゲートボール場)
折敷瀬東老人クラブ (舞相会館)
- 努力賞**
穂木場老人クラブ (岩崎バス停横)
野々川老人クラブ (野々川公民館)
中尾上・下老人クラブ (福祉会館)

高級 東彼 “波佐見牛”

①肉用牛生産農家の実態

枝肉単価 キロ 四千円を突破!!

八月四・五日の両日、第十二回「長崎牛」肉畜牛枝肉展示即売会が、大阪市・全農近畿畜産センターで開催され、本町井石郷の宮川正道さんの牛(体重六百八十kg、枝重四百二十九・二kg)が、見事特選を獲得。枝肉単価も四千円と、本町肉用牛生産始まって以来、初めの四千円台突破。

高級牛をめざす本町肥育農家にとって、新たな発奮剤となっています。

今月からスタートした「焦点」。第一回目は、肉用牛生産に取り組む、肥育農家にスポットを当ててみました。

「長崎牛」の名を全国的に広めようと、毎年開かれていた同枝肉展示即売会(県経済連主催)の十二回目を迎えた今回は、県内各地から七十人が参加、このうち本町からは七人が出品したものです。

今回の出品牛の平均出荷体重は、六百六十八・七kg、平均枝肉重量四百・五kgで、枝肉歩留が五九・九割。

特選の宮川さんの牛は、血統が父「勝茅」、母が「第三西福」の老岐産。生後九カ月の素牛(三百五kg)を三十三万六千円で仕入れ、約六百日間にわたり、手塩にかけて育て上げたもの。

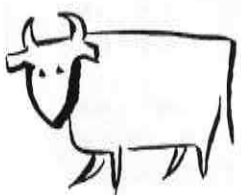
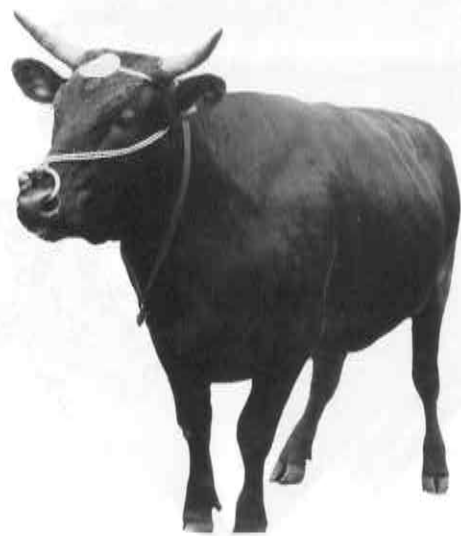
審査の結果、枝肉重量四百二十九・二kgで六十三・一割の歩留。サシ(脂肪交雑)をじめ、肉付、脂肪色、肉色など八ポイント全て最高ランク、取り引き額も約百七十万円と、他の上位牛に大差を付け見事特選に輝いたものです。

「特選、しかも単価四千円にびっくりした。これまでの成績は二千元台がほとんど。今、素牛価格も四十数万円と高値続きで、素牛導入も厳しい状態が続いている。現在三十五頭飼育しているが、これからも高級牛を目指し肥育管理に努力していきたい」と喜びを語る宮川さんです。

あゆみ

役牛から肉用牛への転換期

本町の肉用牛生産が本格的に取り組まれるようになったのは、昭和三十年代に入ってから——それまでは、ほとんどが農耕用、いわゆる役牛として飼育され、農作業には、なくてはならない存在であり、農繁期には、あちこちで、田おこしや農作物の運搬などを、する光景が見られたものです。しかし、農業の近代化、とりわけ、農業機械の普及は著しく、役牛の数も年を追うごとに減少。逆に、牛肉需要の



めざせ

多頭飼育の時代へ

ここで、本町の肉用牛に關する主な年次統計数字をひろってみましょう。(別表参照)

まず、肥育農家戸数は、昭和四十年に八七二戸だったのが、年々減少の一途をたどり、四十五年は四九六戸、五十年には二三〇戸。さらに、今年四月の調査では一二七戸と、段階的な減少を見せています。一方、肉用牛の頭数は、四十年の一二二四頭から五十年の六七六頭まで減少を続けたものの、その後単独の素牛導入資金利子補給事業や肉用牛集約生産団地育成事業の導入等により、今年四月には、一千頭の大台にまで伸びを示し、現在一〇〇七頭、肥育農家一戸当たり約八頭の飼育規模となつています。

このようなことから、本町の肉牛生産の特徴をひと口に言えば、「少数飼育の時代から多頭飼育の時代へと移つてきた」といえましよう。これは、全国的な数字を見ても同じ傾向が見られます。四十年の全国飼養戸数約一四三万戸が、六十年には約二九万八千戸と二十年間で約五分の一に減少しているのに対し、頭数は、四十年の約一八九万頭から六十年には約二五九万頭と約四十割の伸びを示し、一戸当たりの頭数も八・六頭と、本町の肥育規模は、ほぼ全国並みに近づいてきているといえましよう。

肥育農家と頭数の推移

	戸数	頭数
40年	872	1,224
45	496	989
50	230	676
52	219	745
55	179	717
58	171	937
59	167	986
60	145	887
61	136	925
62	127	1,007



年数回開催される共進会

今後の課題

高級質生産と安定供給

近年の本町から出荷される頭数を見てみると、年間五百から六百頭前後。出荷先は、ほとんどが大坂方面で、六十年頃から上物率も徐々にアップし、現在比較的安定した供給を見せているところだ。

しかしながら、今後を展望した場合、必ずしも豊かな道ばかりではなく、多くの課題が立ちほだかつていそうです。

現在、飼料については値下りを見せているものの、素牛が徐々に高騰していること、外国産牛肉の拡大、いわゆる

農産物輸入自由化という大波がじわじわ押し寄せてきていることなど、本町肥育農家にとつて、これからもイバラの道が待っています。

定期的に開催される肥育農家の青年部会。

「この道で生き残るには、どうすべきか」……酒をくみかわしながら、「明日の波佐見牛」を語り合う部員たちは、どの顔も輝いています。

「並みの肉質ではダメ。これからは高級牛を生産し、安定した供給体制に持つていくことだ。そうしなければ、この道では生き残れない。そのためには、肥育管理と技法、素牛を選ぶ目、市場の流れなど徹底した研究を重ねていこう」と語り合う部員たち。

大波を乗り越えていこうという彼らの一つ一つの言葉に、肉牛生産にかける意気込みがひしひしと感じられました。





▲新企画茶ワン横競争



◀カラオケチャンピオン
佐藤政行さん



▶チビッコのど自慢
中村由里子ちゃん

声!

八月十四日、勤労者体育センター周辺で開かれた、第六回はさみ夏まつり。午後五時から「カラオケ大会予選」を皮切りに、「チビッコのど自慢」・縄とび・梅干しとばし・茶わん積み競争の「ギネスコーナー」、青年団員らによる舞踊などが次々に繰り広げられ、訪れた約五千人の家族づれなどで大変な賑わいを見せました。

競技の結果は次のとおりです。

◀チビッコのど自慢▶
優 勝 中村由里子
準優勝 長崎屋佳織
岩永 ゆみ
三 位 山川かな子

◀カラオケ大会▶
優 勝 佐藤 政行
準優勝 正田ちえみ
三 位 平田 未雄
敢闘賞 未雄

カラオケ大会など、主な



▶町長ら五人による縄わり



第6回



6000人が

- ◎縄とびの部
- 一位 坂本 樹里 (一九二回)
 - 二位 福島 孝紀 (一九二回)
 - 三位 立石 伸介 (一八五回)
- ◎梅干し飛ばしの部
- 一位 西 秀俊 (六九八回)
 - 二位 高村 誠治 (六一〇回)
 - 三位 岩永 正行



- (五ノ六五)
- ◎茶ワン積み競争
- 一位 細川 和徳 一三個
 - 二位 疋田健一郎 一一個
 - 三位 江添 正博 一〇個
 - 三位 田沢 孝幸 一〇個



夏空に大輪の花 (九百発)



▲華やかに「はさみ節」

▲ハッスルなわとび1位の坂本樹里ちゃん



▲へて舞J代第



▲青年団も熱演しました



▶ 八人が熱弁をふるう

六十二年度の「若い経営者の主張大会」が、八月二十二日勤労福祉会館で開かれ、県下各地の商工青年の代表八人が熱弁をふるいました。

「後継者として思うこと」「商工青年として我が街を考へる」など、主張者たちは、それぞれの地域で抱えるさまざまな課題と今後の商工青年の役割について特に主張。その結果、川棚町の佐藤勝也さんが見事最優秀賞を獲得。表彰式では、本町ならではの、陶磁器製桶も上位入賞者に贈られました。

二日目は、鴻ノ巣グラウンドを主会場に、「第二十一回県商工会青年部連合会ソフトボール大会」が開かれ、十七チーム・約二百五十人の選手たちは終始好ゲームを展開しました。

優勝：西彼町（抽選勝ち）決勝戦降雨中止により準優勝：玉ノ浦町

◀ 新しい校門完成（中央小）

中央小学校（岩本菊美校長児童601人）の新しい校門がこのほど完成しました。

レンガ状でタイル張り（高さ1.6m、幅0.8m、奥行0.6m）を門柱として、両サイドに設置。左側に「波佐見町立」、右側に「中央小学校」と十文字の陶板（18°角）を組み込み、さらに、その上に町章と校章の描かれた花瓶がそれぞれ据えられて、いかにも、陶器の町ならではの校門づくり。

工事費約120万円。2学期に入ったばかりの子どもたち。真新しい正門の前で、先生の説明にじっと耳を傾けていました。



菊人形で見栄えがするの
はやはり武将やお姫さま。
それで、NHKの大河ドラマ
の主人公が各地の菊人形
によく登場します。今年も
もちろん伊達政宗です。

菊人形

親指くらいの太さにし、それで、体の線を作り、さらに櫛の葉を全身につけてふくらみを出します。菊は土から掘り上げて、水にひたした水ごけで根を包みます。根は体の中に納めるので、外部からは見えません。

菊の花は一週間くらいしかもちませんから、会期中に取り替えることになり。この作業は夜にやることもありますが、最近では「着せ替え中」と看板を出して観客の前でやると、かえって親しまれ、喜ばれるそうです。

竹ひごを、わらで巻いて
作ります。菊人形と呼ぶ
技術者が作りま
す。



したが、最近の高齢者は仕事と趣味の両方に意欲を持つている方が多いようです。十月は「一高年齢者雇用促進月間」で、東京で高年齢者雇用促進大会が開かれるほか、各地で行事が計画されています。活力ある社会を維持するために、国民みんなが、高齢者の仕事に理解をもちたいものです。

◀花カンランづくりに励む

—岳辺田老人会—

岳辺田老人会(切間勇一会長・会員60人)は、このほど花部会を設置。部員20人は、ただ今「花カンラン」づくりの真最中です。

8月6日に種まきし、4ヶ月程に育った苗に8月19日には、ビニールポットへ移植。約800本の苗を1本1本ていねいに移し込むのは、なかなか根気のいる作業です。

晩秋から春先に向け、白や赤紫などの美しい色あいを見せてくれる花カンラン。

同部会では、「老人の心の花づくり」をモットーに、これからも、いろんな花づくりに挑戦しようと声を弾ませています。



▶「未来をめざす親子関係」

NHK解説委員・田畑彦右衛門氏講演会

伸びよう育てよう青少年—波佐見町5校生保護者連絡協議会などの主催による教育講演会が、8月29日勤労者体育センターで開催されました。

この日講演したのは、NHK解説委員で「今日の焦点」などでおなじみの田畑彦右衛門さん。「未来をめざす親子関係」と題し、約1時間半にわたる熱演に、集まった町内の児童・生徒の父兄約800人は終始熱心に聞き入っていました。



スポーツ お知らせ

◆「健康づくり町民大運動会」

期 日 十月十日(体育の日)

場 所 波佐見中学校グラウンド

家族そろってご参加ください。

い。(開会式は午前九時三〇分からの予定です。)

◆第四回町婦人ミニバレーボール大会

期 日 十月二十五日(日)

場 所 勤労者体育センター

午前九時開会

参加申込みは十月十四日(水)まで、町公民館(☎八五—二〇三四番)へお願いします。

◆第二回波佐見児童野球選手権大会

期 日 十月十八日・二十五日の日曜

場 所 鴻ノ巣グラウンド

波中グラウンド

参加予定チーム 県内外から二四チーム

チビっ子たちのファイトあふれるプレーが展開されます。

ご声援ください。

新しい家族 No.2 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学

詫摩 武俊

四歳前後で平仮名をすべ
て読める子供、
初歩的な算教
のできる子供
は最近では少
しも珍しいこ
とではなくな
っています。就
学前の子供を
対象にした教
育機関もた
くさんできて、
かなりの幼
児が母親に手
をひかれて通
っています。就
学前の子供の
知的能力の国
際比較をし
てみたら、恐
らく日本の子
供は非常に高
い水準にある
と思います。

この高い水準
が幼児期だけ
でなく、それ
からあともず
つと、どの子
供にも維持さ
れていくので
あればよいの
ですが、実際
にそうではあ
りません。

小学校、中学
校と学年が進
むにつれて勉
強が嫌いにな
り授業も理解
できなくなっ
て、せっかく
高等学校に入
学しながら途
中で退学して
しまう生徒が
確実に増加し
ています。

親が子供の知
的発達に非常
に熱心で、そ
のたの費用支
出には喜んで
応じているの
に、このような
結果になって
しまふのはど
うしてなのでしょう
か。

家庭教育の内
容に関する問
題がここにも
あるように思
います。

「勉強しな
さい」「遊ん
でばかりいな
い」「勉強は
どうしたの
？」と口ぐせ
のように親が
いっている家
庭に勉強嫌い
になってしま
うのか

なぜ勉強嫌いになってしまふのか

育てていく配
慮が子供の知
的発達を促し
ていくのです
。そのために
は子供の質問
に適切に、誠
意をもって答
えていくこと
とともに、家
庭の中で知的
会話が必要
です。

親たちがその
日に見たこと
、読んだこと
を食卓

での話題にす
ることが子供
の視野を広げ
ていきます。わ
が国の親と子
の会話の中は
子供の学業成
績についての
質問が高い比
率を占めます
。ときにはこ
れも必要です
が、いつもこ
れだけでは子
供は親と話す
ことを嫌うよ
うになります
。歴史のこと
、地理のこと
、時事問題な
どを楽しい話
題にしていく
ことが子供の
未来を明るく
するのです。



私のふるさと②

宮崎県田野町



川内キリエさん(38歳)

井石郷

私のふるさと
は、宮崎県
田野町です。
宮崎市の隣
町で人口は
一万三千人
ぐらいいま
す。主に葉
タバコや大
根などが生
産される農
業中心の町
ですが、最
近は縫製工
場などの企
業が進出し
、少しずつ
街並みも変
わってきて
います。

町のシンボ
ルは「鰐塚
山(一一九
号)」。ハイ
キングなど
でよく登っ
たものです
。今年のお
盆に久しぶ
りに帰郷し
た。小学校
の同窓会に
出席したら
、数日後特
産品の漬
け物が送っ
てきたん
です。

す。しかも、
県外に嫁い
だ人だけだ
とか。本当
に嬉しかった
です。

就職先(岐
阜県)で知
り合った主
人(達実さ
ん)と十六
年前に結婚
。十三年前
に波佐見に
来ました。

波佐見はわ
かりにくい
。特にお年
寄り同志の
会話はチン
パンカンパ
ン。始めは
電話の応対
にも四苦八
苦でした。

町への要望
といえば「
道路整備」
。道幅は狭
く、車の量
も多い。道
路行政にも
力を入れて
ほしいです
ね。

一度飼ったら捨てない決心



動物愛護週間 9月20日~26日

近年、全国のスポーツ人口の増加は、著しいものがあり、東彼地区に於いても、各地で各種のスポーツ団体があり、それぞれ活躍されています。このような身体運動は、健康の維持、増進、体力の増強に、又、社会性の育成に、欠く事の出来ないものになっています。



「スポーツ障害」について

東彼医師会 山本 尚司（川棚町）

私たちの願いは、何といつても健康です。でも、ちよつとした油断でいろんな病気やけが見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

私たちの願いは、何といつても健康です。このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。



その反面、スポーツブームは、疾病や、傷害の原因となり、スポーツ活動だけでなく、日常生活にも支障を来たす事が、数多くみられるようになってきます。これを予防するには、指導者は無論、個々のプレーヤーが、充分に自覚し、障害が起らないように、対



処する心掛けが、大切だと思われまふ。先づ、第一「プレーヤー個々が平素からコンディション作りに努める事。」「第二、自己能力に正しい認識を持ち、プロのまね事をしない事。」「第三、オーバートレーニングを避ける事。」「第四、充分なウォーミングアップをする事。」「第五、少なくとも、スポーツに当てる時間の1/3を使って、充分身をならす事。」「第六、競技ルールの順守、粗暴プレーの禁止。」「第七、設備、用具の点検、整備。」「第八、環境、気象条件の把握を充分に行う事。」「第九、以上の事に留意し、スポーツで外傷をうける事は、スポーツマンの恥である、位の認識を持っていただきたいものです。私の仕事上で最も多い外傷では、アキレス腱鞘炎及

私たちの願いは、何といつても健康です。このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病気やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

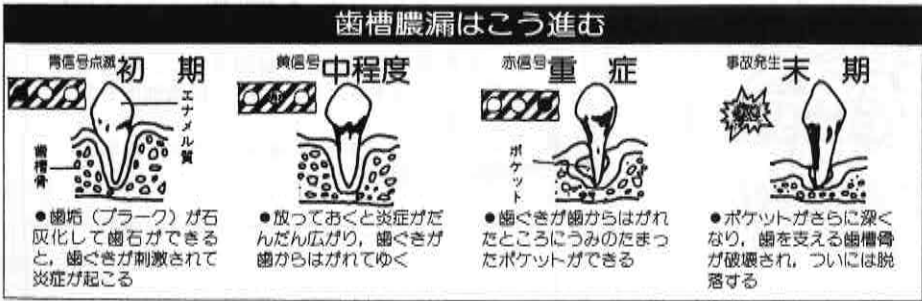


※九月・十月実施の基本健康診査では、歯科衛生士による歯周疾患についての話もあります。歯のことで心配のある方はお気軽に相談してください。

こんにちは
保健婦です

「歯槽膿漏」

— あなたは悩んでませんか —



ひろば

の方は役場
お知らせください。

「障害者雇用継続 助成金制度」新設

一 障害者雇用継続助成金
新しい制度です。

とは

雇用されている労働者が、労働災害、交通事故等のために障害を有するに至ったいわゆる中途障害者を、離職させることなく引き続き雇用の継続を図るため、作業施設、設備の改善、及び職場復帰に当たって職場適応措置を行う場合、その事業主に対し次表の助成金の支給をすることによって労働災害等による中途障害者の雇用の安定、並びに社会復帰に資するために設けられた

二 助成金の種類及び支給額
① 中途障害者作業施設設置等助成金

第一種中途障害者作業施設設置等助成金

第二種中途障害者作業施設設置等助成金

② 重度中途障害者職場適応助成金

三 実施

昭和六十二年七月一日

四 問い合わせ

この制度の詳しいことは最寄りの公共職業安定所か、長崎県心身障害者雇用促進協会にお問い合わせ下さい。

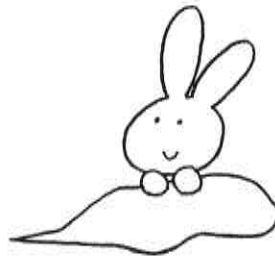
○長崎県心身障害者雇用促進協会

長崎市興善町六一二四

長崎県自治会館1F

☎〇九五八

二二一五三五九



ご協力をお願いします

就業構造基本調査

10月1日現在で実施

総務庁統計局（長崎県、波佐見町）では、10月1日現在で、就業構造基本調査を実施します。皆さんの御理解と御協力をお願いします。

この調査は、国民の皆さんの就業・不就業などの実態を明らかにする国の基本的な総計調査の一つです。この調査により得られる統計は、国や地方において、皆さんの仕事や暮らしにかかわる政策を立案し、推進するための重要な資料となります。調査は、全国的規模で行われますが、調査対象となる世帯は統計的な手法により、本町では田ノ頭・宿・折敷瀬・井石郷の内、約70世帯が選ばれ、これらの世帯に、9月下旬に調査員がお伺いしますので、御協力をお願いします。

なお、調査員は知事から任命され、調査票に記入していただいた内容をほかの人に漏らすことは絶対にありません。また、調査票は統計を作るためにだけ利用されますから、個人や世帯の秘密は完全に守られます。

調査票には、ありのままを記入してくださいようお願いします。



「この人に、働く喜び 明るい社会」

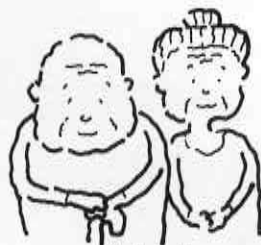
※9月は「心身障害者雇用促進月間」です。

- ★ 障害の有る人も無い人も、共に働き共に生きることが自然である社会を実現しましょう。
- ★ 就職を希望する心身障害者の職場を確保することは社会全体の責務です。一人でも多くの障害者の採用について事業主の皆さんの努力と工夫をお願いします。
- ★ 労働省、雇用促進事業団等では、障害者の雇用を促進するため、各種の援護制度を設けています。

くわしくは大村公共職業安定所（電話52-2101）へ御相談下さい。

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで



敬老の日
(9月15日)

10月10日(体育の日)は 「健康づくり 町民大運動会」です

— 家族そろって参加しましょう —



12月3日まで 第30回波佐見 焼陶器まつり ポスター募集



波佐見焼陶器まつり協賛会
(事務局＝町商工会)では、
来年四月一日(金)から五日
(火)まで開催される「第三
十回波佐見焼陶器まつり」の
ポスターを募集します。

- 応募規定
- 未発表の作品に限ります。
- 応募資格は問いません。
- 作品はケント紙を使用。
- サイズは、B3(364×515)以上のタテ型。
- 用紙の下方部分(六分の二)は空白とします。
- 次の文字を必ず入れてください。

お礼

町児童文化基金
寄付お礼
彼佐見町児童文化基金
に次の方から多額の寄付
をいただきました。
心から厚くお礼申しあ
げます。

○金屋郷 松岡宣章様

「第30回波佐見焼陶器まつり」
四月一日(金)～
五日(火)



- 色数、技法は自由
- 作品は、原則として返却しません。(版権、使用権は主催者に帰属)
- 作品の裏面に住所、氏名、電話番号を明記
- 応募先は波佐見町商工会
- 応募締切は十一月三十日
- 表彰
- 最優秀賞 15万円 (二点)
- 優秀賞 5万円 (二点)
- 佳作 (数点)
- どしどし、ご応募ください。
- 詳しくは、町商工会(☎八五―二〇六九番)へお問い合わせください。

お気軽にご相談ください

行政・心配ごと **合同相談所**

10月14日(水)

秋の行政相談週間が10月11日から17日までの1週間行われます。

町では10月14日、行政・心配ごと合同相談所を開きます。

役場に対する苦情、要望をはじめ、サラ金、訪問販売、家庭内での悩みなど何でも結構です。お気軽にご相談ください。(相談は無料、秘密扱いです。)

▶日時…10月14日(水)

午前10時～午後4時

▶場所…役場相談室



IYSH-1987
国際居住年

明日のため 今日を見直す居住年

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 町県民税



それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

- 香典返しにかえて
- 皿山郷 小柳 一吉様
 - 御尊父故小柳勇蔵様
 - 稗木場郷 古田 政好様
 - 御尊父故古田竹一様
 - 折敷瀬郷 中島 廣義様
 - 御母堂故中島タツ様
 - 志折郷 山田 登様
 - 御尊父故山田藤三様
 - 湯無田郷 原田キクエ様
 - 御主人故原田松良様

- 村木郷 山口 勝一様
- 御尊父故山口 義喜様
- 川内郷 松川三次郎様
- 御夫人故松川イセ様
- 鬼木郷 清水 弘太様
- 御祖母故清水ハイ様
- 野々川郷 長島 唯明様
- 御尊母故長島イチ様
- お見舞返しにかえて
- 村木郷 広瀬 善吉様
- 川内郷 山田 寅二様
- 金屋郷 和島 源治様
- (和島シカ様見舞返し)
- 以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

善意の窓

- 村木郷 山口 勝一様
- 御尊父故山口 義喜様
- 川内郷 松川三次郎様
- 御夫人故松川イセ様
- 鬼木郷 清水 弘太様
- 御祖母故清水ハイ様
- 野々川郷 長島 唯明様
- 御尊母故長島イチ様
- お見舞返しにかえて
- 村木郷 広瀬 善吉様
- 川内郷 山田 寅二様
- 金屋郷 和島 源治様
- (和島シカ様見舞返し)
- 以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

わかちあう 幸せ



赤い羽根
共同募金
10月1日~12月31日

お誕生おめでとう

子の名	父の名	住所
河野 泰祐	勝行	三股郷
永田 尚弘	宏記	"
廣瀬 友香	悟郎	永尾郷
岸川 花恵	正秋	野々川郷
井手 泰嗣	秋則	湯無田郷
川口 史哉	三世史	"
山口 隼人	隆	"
馬場 由貴	順一郎	井石郷
岩永紗代子	喜久美	"
岩永明日香	孝	金屋郷
田中 和彦	武彦	金屋郷
豊田 翔伍	昌史	折敷瀬郷
福田 津美	雅守	"
佐原 淋菜	益男	宿郷
松本 輝樹	勇	稗木場郷
内田 和也	武宏	田ノ頭郷
松尾 紗美	誠治	"
田嶋 美子	浩二	甲長野郷
谷村 香澄	志折郷	"

ご結婚おめでとう

勝 秀成	大分県
福田 操	中尾郷
早崎洋一郎	湯無田郷
尾崎エミ子	志折郷
水谷 正美	神奈川県
久部 京子	折敷瀬郷
谷村 浩喜	村木郷
金ヶ江美智代	佐世保市
河野 サグ	永尾郷
松尾 初己	湯無田郷
山川 正子	井石郷
山川 シカ	"
細川 忠義	宿郷
吉田 常一	"
川平 清一	"
松尾 國男	皿山郷
松本 ソデ	乙長野郷
66歳	80歳
72歳	72歳
54歳	80歳
74歳	70歳
86歳	86歳

おこやみ申し上げます

▼二学期に入り、子どもたちは毎日元気いっぱいに通学している。
この夏休み、いろんな思い出があると思う。
夏休み最後に襲ってきた台風一二号。
荒れ狂う暴風——まんじりともしない恐怖の一夜。
数多くの子どもたちが体験したことだろう。
町内では、電線の寸断で川内地区など二日間停電したところもある。ローソクの灯での夕食や勉強。電気のありがたさを充分学び取ったにちがいない。とにかく、今台風は、私たちに「風の恐しさ」をまざまざと教えてくれた。

安全は人と車のゆずり合い

秋の全国交通安全運動
9/21~9/30

◇重点目標

- ▶歩行者及び自転車利用者の交通事故防止
- ▶二輪車を中心とした無謀運転の追放
- ▶正しい方法による、シートベルト・ヘルメットの着用の徹底

